

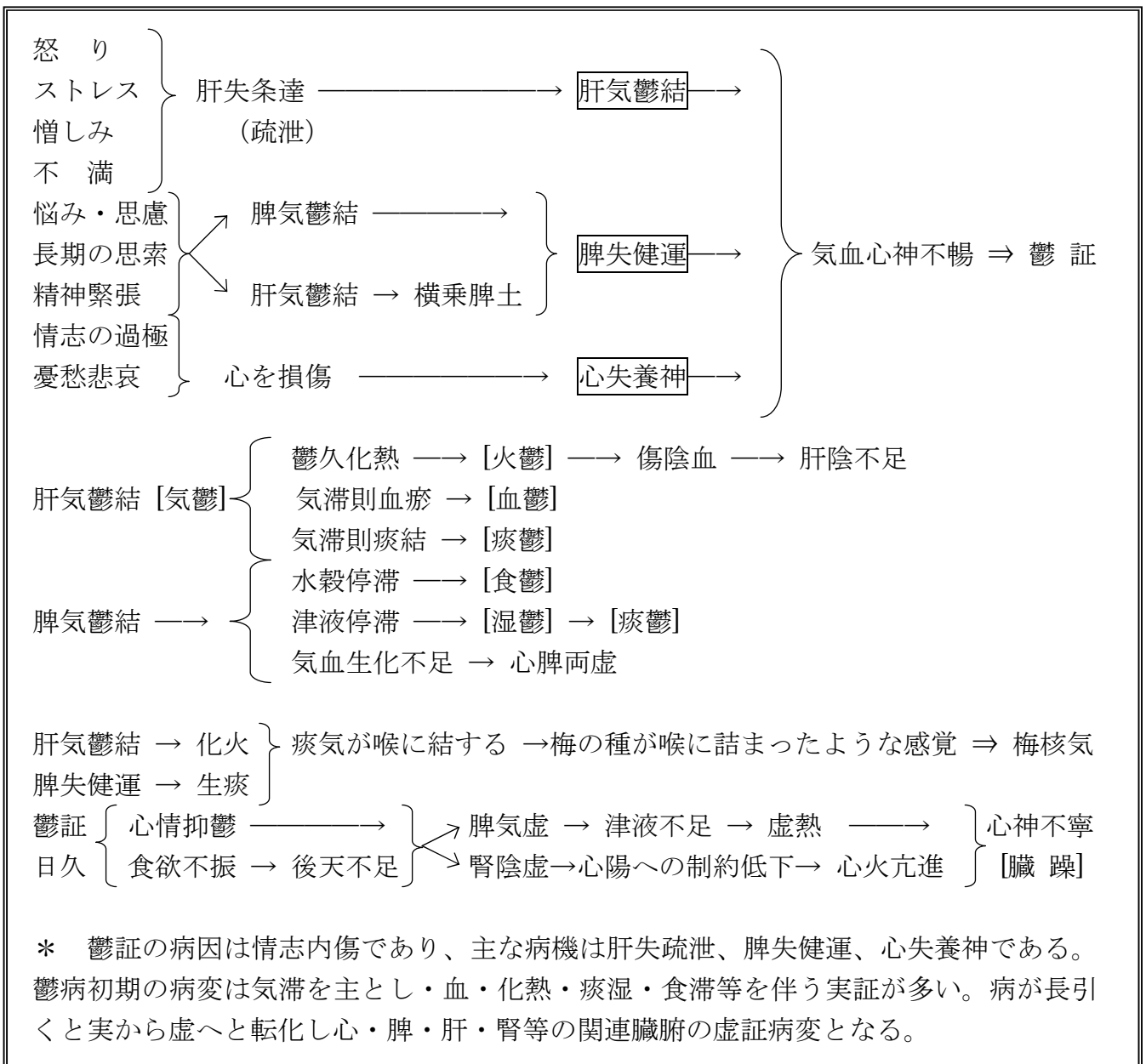
第 30 講 『 鬱 証 』

：鬱証とは情志失調、気機鬱滞により引き起こされる情志抑鬱、情緒不暢、胸部満悶、胸肋脹痛、或いは喉が異物によって塞がれているような感覚等を主要な臨床表現とする病証である。

【 分 類 】

- 実 証 : 六鬱 (気鬱・火鬱・血鬱・湿鬱・痰鬱・食鬱)
- 虚 証 : 心・脾・肝の虚証
- その他特殊なもの : 梅核気、臆躁

【 病因病機 】



* 鬱証の病因は情志内傷であり、主な病機は肝失疏泄、脾失健運、心失養神である。鬱病初期の病変は気滞を主とし・血・化熱・痰湿・食滞等を伴う実証が多い。病が長引くと実から虚へと転化し心・脾・肝・腎等の関連臓腑の虚証病変となる。

【 症状と処方例 】

1. 肝気鬱結（気鬱）：最も常見で、初期に現れる

[症 状] 精神抑鬱、情緒不寧、脇肋脹痛、痛みは非固定性、舌苔薄白、脈弦。

* 多くは脾への損傷により肝脾不和証を呈する。 症状：+納呆、腹脹、大便不暢 等

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
太 衝	肝 経	疏肝理気	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
期 門	肝 経		第9肋軟骨付着部下際
膻 中	任 脈		前正中線上で、両乳頭を結ぶ線が交わる場所
合 谷	大腸経		第1・2中手骨底間の下、陥凹部。第2中手骨より取る

* 肝脾不和証：脾経の経穴を加える

2. 気鬱化火（火鬱）

[症 状] イライラし落ち着かず極めて怒りやすい。気鬱症状+熱症状（目赤、耳鳴、大便秘結 等）舌紅苔黄、脈弦数。

[処方例] 気鬱処方 + 行間、俠谿

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
行 間	肝 経	清肝火	第1中足指節関節の前、外側爪甲根部
俠 谿	胆 経		第4中足指節関節の後、外側陥凹部

3. 血行鬱滯（血鬱）

[症 状] 気鬱症状+瘀血症状（皮膚甲錯、顔色がどす黒い等）、舌紫暗、瘀点瘀斑、舌下絡脈、脈結代。

[処方例] 気鬱処方 + 膈兪、血海

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
膈 兪	膀胱経	活 血	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分
血 海	脾 経		膝蓋骨内上角の上2寸

4. 心脾両虚

[症 状] 思索にふけりよく疑う、眩暈、倦怠感、心悸、驚きやすい、健忘、納呆、顔色に精彩がない。舌質淡、脈細。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
太 白	脾 経	補脾益気	足の第1中足指節関節の後、内側陥凹部
脾 兪	膀胱経		第11・12胸椎棘突起間、外1寸5分
神 門	心 経	補心養血	手関節前面横紋の尺側、豆状骨の上際で尺側手根屈筋腱の橈側
心 兪	膀胱経		第5・6胸椎棘突起間の外1寸5分
足三里	胃 経	補後天、生氣血	膝を立て、外膝眼穴の下3寸
膈 兪	膀胱経	養 血	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分

5. 湿鬱・痰鬱

[症 状] 心脾両虚症状に湿或いは痰の症状を加えたもの。舌淡苔白膩、脈濡弱。

[処方例] 心脾両虚処方＋陰陵泉、豊隆

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
陰陵泉	脾 経	利湿化痰	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際、陥凹部
豊 隆	胃 経		外果の上8寸、条口穴の外方に一筋隔てた陥凹部

6. 食 鬱

[症 状] 心脾両虚症状に食滞の症状を加えたもの。舌象・脈象は湿鬱・痰鬱に似る。

[処方例] 心脾両虚処方＋中脘、梁門

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
中 脘	任 脈	化食導滞	前正中線上、臍上4寸
梁 門	胃 経		膝蓋骨外上角の上2寸

7. 痰気鬱結（梅核気）

[症 状] 情緒抑鬱、胸悶、喉にもものが痞えているようで不快、飲み込もうとしても飲み込めず、吐き出そうとしても吐き出せないが飲食には全く問題ない。思索にふけりよく疑い、ため息を良くつく。苔白膩、脈弦或いは滑。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
太 衝	肝 経	疏肝理気	足背にあり、第1・2中足骨底間の前、陥凹部
膻 中	任 脈		前正中線上で、両乳頭を結ぶ線が交わるころ
豊 隆	胃 経	清火化痰	外果の上8寸、条口穴の外方に一筋隔てた陥凹部
魚 際	肺 経		第1中手指節関節の上、橈側陥凹部、表裏の肌目
神 門	心 経	寧心安神	手関節前面横紋の尺側、豆状骨の上際で尺側手根屈筋腱の橈側

8. 心神惑乱（臆躁）

[症 状] 気がぼうっとしている、感情が失調し、時に泣いたり怒ったり笑ったり定まらない。いつも精神刺激により発作をを起こす。心脾両虚症状或いは心腎陰虚症状を伴う。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
膈 兪	膀胱経	補養気血 寧心安神	第7・8胸椎棘突起間の外1寸5分
心 兪	膀胱経		第5・6胸椎棘突起間の外1寸5分
内 関	心包経		大陵穴から曲沢穴に向かい上2寸
三陰交	脾 経	健脾生津	内果の上3寸、脛骨内側縁骨際
腎 兪	膀胱経	滋 腎 陰	第2・3腰椎棘突起間、外1寸5分